

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	ベンチャービジネス特論		
英文授業科目名	Advanced Lectures on Venture Business		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電気通信学研究科-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻 情報工学専攻 電子工学専攻 量子・物質工学専攻 知能機械工学専攻 システム工学専攻 人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	内田 和男		
居室	西3-405		

公開E-Mail	授業関連Webページ
	<a href="http://130.153.46.161/p4web3/login.asp">http://130.153.46.161/p4web3/login.asp</a>

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>現在、日本は大きな変革期を迎えている。高度成長時代に、欧米の成熟した企業へのチャレンジにより、新たな市場を獲得して、躍進した現在日本の大手企業も、以前はベンチャー企業そのものであった。しかし巨大化した大手はその存続ゆえに、継続的な事業の発展を重視し、現在において市場規模が小さく、未知である新たなビジネスへのチャレンジに対しては積極的な対応ができない状況である。しかしいずれは、以前の日本企業が他を凌駕した如く、今の大手企業の繁栄も新たなイノベーションの波により取り崩されるという危険性を露呈している。このような状況下、現状で市場規模が小さく、将来に大きな発展の可能性を秘める事業に取り組める企業は、企業規模が小さく、機動力のあるベンチャーであり、その成長発展が日本の産業再生には必須であると考えられる。</p> <p>これより本学ベンチャービジネス特論は、ベンチャー起業に必要な種々の情報、マインドを習得してもらうことを目標としている。また一般の工学系大学においての講義の中に、ビジネスに関する授業がほとんど開講されていないことから、本特論では、ビジネスに関する基礎的な知識も身につけてもらうことを目標としている。</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>特になし。</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>特になし。</p>
--

【教科書等】

講義の前に各自資料をダウンロードする。

【授業内容とその進め方】

1. 授業内容

授業は概ね以下のような構成になっている。

1. ガイダンス
2. ベンチャー概論
3. ベンチャービジネス総論
4. ベンチャーの会計
5. ベンチャー事業計画
6. マーケティング
7. ベンチャー起業家による経験談
8. 企業コンプライアンス 等

2. その進め方

本授業では、社会科学系大学の教官、学外の企業家や会計士、経済アナリストなどを招聘して、講演をお願いし、それをもとに実務的な内容を系統的に理解できるように構成する。

3. 授業時間外の学習

毎回の授業の後にレポート作成の宿題を出す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

毎回のレポートと出席点で評価を行う。レポートでは、内容の理解度、文章の構成力等を評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けていないが、いつでもメールでアポイントメントを取って相談にきてほしい。

【学生へのメッセージ】

IS研究科の学生の聴講も歓迎する。

【その他】